延喜式内名神大社

生島足島神社便り

Vol.40

ごあいさつ …… 2
氏子定期総会／氏子総代・役員／新任の方々 …… 4
平成26年事業計画 …… 5
初詣 …… 6
いままでの祭事・行事 …… 7
これからの主な祭事・行事／大看板新調する／編集後記 …… 8

２月３日、節分追儺祭斎行の後、午後３時半より新しい斎館前において「豆まき」が行われました。大勢の皆さんが来られ、両手にいっぱい拾われた方が多く見られました。

第40号　平成26年4月　生島足島神社　上田市下之郷中池西701　TEL0268-38-2755　FAX0268-39-1515
公式ホームページURL　http://ikushimatarushima.jp/

ごあいさつ

巳年から午年に暦が改まりました。また、生島足島神社も三月から、新しい年度がスタートしました。新しい年の御加護と新年度の希望に向けた抱負を宮司さんと総代長さんに語ってもらいました。

ごあいさつ

宮司　武藤　美登

平成二十六甲午（きのえうま）年を穏やかに迎え、早朝歳旦祭を斎行、好天にも恵まれ三が日で四万人を超す初詣の善男善女が訪れ、今年の平和と繁栄などを祈りました。

一月十四日には、御筒粥によるトをもって、本年の五穀豊凶の神諭を仰ぎまつる神事、御筒粥ト神事が斎行されました。本年の神諭は、別記のとおりです。

新築中の斎館が竣工し、一月三十日に竣工清祓式を斎行、新築に当り御尽力御協力戴きました建設委員・役員を始め多くの方々に感謝し、心から御礼申し上げます。

この一年は、国内が平穏で、家々が豊かであり、禍事がなく穏やかな年となるように願い二月三日節分追儺祭、引き続き新築竣工直後の斎館前で鬼やらひ豆撒きの儀が行われ、多くの氏子・崇敬者の方々が福を求めて訪れました。

翌日は二十四節気の立春、日に日に春めいてまいるものと感じられましたが、その後八日に大雪がありました。

二月十一日建国記念の日は、紀元祭並神位祭併祈年祭を斎行、五穀豊穣と国家の安泰を祈請しました。

そして、十四・十五日、再び大雪に見舞われ、各地で甚大な被害がありました。

近年は、未曾有の大震災を始め豪雨、台風、豪雪等の自然災害が頻発し、日本中が数々の災害に見舞われることが、多くなりました。

災害の「災」という文字は［川＝水］と［火］から構成されています。両者は、人間生活を豊かにした反面、人間に自然の厳しさを教えることにもなりました。

水と火は片時もなくては適わぬ物ではありますが、時には、人の生命や財産を一瞬に奪い去ってしまいます。災害に対する備えを再点検しておきたいものです。

二月末日をもって、役員総代として御奉仕され、神社の発展に寄与され多大なる御功績を残された方が五名御退任になられました。多年の御奉仕に対し厚く御礼申し上げ心から感謝いたします。

三月一日より神社の新年度が始まりました。

今年も豊かな秋の稔りを願って、季節ごとの祭が厳修されます。氏子各位の御高配と御協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

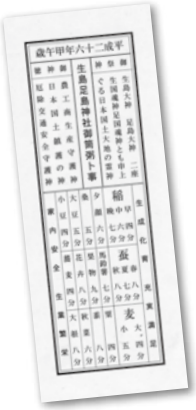
氏子の皆様は、これから益々お忙しい日々を迎えになられることと存じます。

御健康と御繁栄をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

平成二十六年　甲午歳

生島足島神社御筒粥ト事

夕顔	ゆうがお	六分
早稲	わせ	四分
中稲	なかて	六分
晩稲	おくて	七分
桑	くわ	五分
大豆	だいず	五分
小豆	あずき	四分
春蚕	はるご	八分
夏蚕	なつご	七分
秋蚕	あきご	八分
馬鈴薯	ばれいしょ	七分
果物	くだもの	九分
花卉	かき	八分
蕎麦	そば	四分
大麦	おおむぎ	四分
小麦	こむぎ	五分
粟	あわ	四分
黍	きび	八分
秋菜	あきな	六分
大根	だいこん	八分



ごあいさつ

氏子総代長　依田　延嘉

早春の候、氏子崇敬者の皆様には、御清祥のことと心よりお慶び申し上げます。平素は氏子、崇敬者の皆様方におかれましては神社の御神徳の高揚の為に常に温かい御支援、御協力を賜り心より敬意と感謝を申し上げます。

平成二十六年度の就任にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

昨年度は伊勢神宮の式年遷宮が斉行され、多くの皆様が参拝され二十年ごとに行われ大御神が新宮へ遷られ神様のパワーアップとともに御神徳の高揚がはかられた年に斎館の工事に着手する事が出来ました。工事中は何の事故も無く順調に工事が進み、平成二十六年一月三十日に引渡が終了致しました。現在は報恩殿から色々な必要書類物品を斎館に移す作業を致しており、四月十九日の春季例祭に合せて新築祝いを実施する予定です。

御見学を希望される氏子、崇敬者の皆様には片付け中ではありますが、どうぞ御越しに成って下さい。

完成した斎館は建坪二百坪、鉄骨二階建てのバリアフリーに成っており、障害者の皆様及び御年寄の皆様にも安心して御利用出来る様に配慮致しました。斎館の完成に依り、神様の生命力を蘇らせ活性化する事により、日本全体が若返り永遠の発展がなされます様、お祈り致しております。

さらに来年は御柱の準備の年に成ります。氏子、崇敬者の皆様方には何かと御協力をお願いする事と成りますが、御協力、御支援の程をお願い申し上げる次第です。神社の尊厳護持、御社頭御隆昌のために努めてまいりますので、何卒、格段の御高配御協力を賜り今年一年が良い年になります様、氏子、崇敬者の益々の御健康と御多幸をお祈り申し上げ御挨拶とします。

平成26年2月3日、節分追儺祭のあと、午後3時半、「鬼やらひ豆撒き」が新築の斎館前特設ステージから、一斉に豆まきが始まりました。200人余りの善男善女が一斉に両手を伸ばし、福豆を求めておりました。

平成25年10月22日、斎館新築工事前で15時30分から「斎館新築工事上棟式」が斉行されました。祭典後、16時から木遣りの号令で一斉に菱餅が撒かれました。平日にも関わらず大勢の方々が菱餅を求めていました。

積雪七十四センチも降り続いた大雪！

氏子定期総会

三月二十三日、斎館大会議室において午後四時から氏子定期総会が開催されました。

関隆明自治会長を議長に選出し、左記の議事について審議されました。

一、平成二十五年度収支決算について
二、事業計画について
三、斎館建設完成報告
四、平成二十六年度収支予算について
五、境内清掃出役について（十一月二十四(月)日午前六時半からと議決される）

また、氏子総代を満期辞任された七名の方々は神社のため、ご尽力を頂きました。（敬称略）

副総代長　伊藤　孝利（前経理部長・四班）
木本　昭征（前管理部長・一班）
山田　敏久（前総代・一班）
藤田　康一（前総代・五班）
上野　正人（前総代・八班）
宮入　一巳（前総代・九班）
横山　正直（前総代・十班）
宇野　智彦（前総代・十班）

大変、お疲れさまでした。

平成二十六年度 氏子総代・役員

氏子総代長　依田　延嘉（四班）
副総代長・総務部長　斉藤喜美男（七班）
副総代長・経理部長　鳴滝　正夫（十班）
祭典部長　宮下今朝雄（六班）
管理部長　木本　昭征（一班）
広報部長　島田　信夫（十班）
山田　敏久（一班）
南波　和敬（二班）
関　和行（三班）
斎藤　正彦（四班）
南波　茂樹（五班）
依田　一幸（五班）
松澤　康夫（六班）
村山　保人（八班）
多田　恒巳（八班）
宮下　真澄（九班）
大塚　岩男（九班）
中川　謙治（九班）
小林　茂夫（十班）
横山　正直（十班）

新任の方々

1班
山田　敏久
祭典部

4班
斎藤　正彦
祭典部

5班
依田　一幸
総務部

8班
多田　恒巳
管理部

9班
大塚　岩男
広報部

10班
横山　正直
管理部

何卒、御支援御協力をお願い申し上げます。

平成二十六年事業計画

総務部事業計画

総務部長　斉藤喜美男（七班）

一、総務部員役割の明確化、各部への応援。
二、生島公園の歩道の造成に依り（八幡社、荒魂社、秋葉社）へ参拝者の誘導。
三、神池の水質の浄化、水生植物以外浄化の検討。
四、生島公園の整備及び植生の植え付け等。
五、えびすや跡地の整備、緑化。
六、境内駐車場の事故防止、無断駐車の防止。
七、祭典及び各種行事の運営が、目的通り進行が出来るよう努力する。
八、祭典及び各種行事に対する参加者確保に努力する。
九、総代・職員の親睦をはかり、旅行、懇親会等の計画。

経理部事業計画

総務部長　鳴滝正夫（十班）

一、会計業務

一、現金支払いの現金出納帳を記帳し、手持ちの現金を管理する。
二、日々の収支を日計簿に記帳し、月計表等を作成する。毎月、役員会にて監査を受ける。
三、年二回、会計監査を受け、関係書類等を準備する。
四、一般会計収支決算書、予算書を作成し、定期総会にて提案する。
五、総代（婦人部）手当ての支給、職員奉給の振り込みを行う。
六、週初め、週末に金融機関へ行き、初穂料入金、賽銭入金確認、各種振り込みを行う。

二、備品（飲食物を含む）の手配

一、祭典及び会合の後、直会のある場合は、飲物・皿盛り等の手配を行う。
二、総代出役等の際、飲物・弁当の手配を行う。
三、事務備品、作業備品の手配を行う。

祭典部事業計画

祭典部長　宮下今朝雄（六班）

一、祭典参進前の手水の儀、警護、扉、柵、注連縄の開閉他、準備、片付けの手伝い。
二、結婚式の準備、片付け、浦安の舞の練習時の世話役。
三、年末年始の準備、注連縄作り等の作事を早めに行う。
四、名入れだるま、福だるまの目入れ、福升の焼印押し等、事前準備。
五、山榊（そよご）、空木（ウツギ）、ヨシ等の採取、また採取場所の環境が変化しているので対策を考慮する。
六、結界作り用の青竹取り、地主、持ち主に事前にお願いしておく。
七、各部と協力して作業、準備をスムーズに行う様にする事。
八、祭事について神職と準備について等、打ち合わせをする。
九、年二～三回、注連縄、紙垂を取り替える。

管理部事業計画

管理部長　木本昭征（一班）

一、境内清掃

一、宮池、水口、排水溝の管理定期清掃を行う。
二、第二駐車場の清掃。
三、境内枯れ木、支障木の除去作業（一部外注あり）。
四、草刈業務、境内、参道、御旅所、山宮（各所年二回から三回）。
五、下之郷双葉会の清掃業務有り。
六、境内建造物、屋根の落ち葉等の除去作業。

二、境内整備

一、池西側フェンス通りにアジサイの補植をして環境を良くする。
二、子安社回りに、草花を移植し環境を良くする。
三、観賞用花卉植物（牡丹園、宮池の花菖蒲）の手入れを定期的に行う。
四、生島公園の管理、八重桜の木、その他の手入れ。
五、山宮、御柱用材植林地の手入れ、鳥獣食害と育成状態を見て補植有り。
六、松喰い虫被害木の処理（外注作業有り）。
七、御旅所　立木の手入れ、須川　社有地の手入れ。
八、宮池の水質浄化に伴う水利管理、地区水利委員打合せ。
九、その他、設備機器による、水質浄化に伴うもの。

三、各部との連絡業務

一、祭典部　各祭事の準備・要請有り次第対応する。
二、広報部　各業務の準備・各部イベント準備等。
三、祭典時の直会準備・駐車場誘導・整理。

四、年末年始の準備

一、薪作り　春に準備する。山宮、東山より調整する。お焚き上げ用は年末に東山より調達する（軽トラ十五から二十台）。
二、ストーブ、灯油の準備、照明設備、駐車場（一部外注）。
三、各駐車場の白線引き、雪つき用具準備。
四、福だるま、招き猫、縁起物授与所の準備。
五、御本社周りの参拝所の対応の準備等。
六、道路標識の準備点検設置等。

五、資源物の管理

一、資源物管理は管理部で毎月第三金曜日に当番表により行う。

六、車両の管理

一、車検、点検、（指定販売店）。
二、タイヤ交換　夏・冬入れ替え。

七、倉庫、西ハウス管理

一、各道具、工具、御柱の道具、神輿、整備・点検。
二、整理整頓、各種、燃料、点検。

八、消防車管理

一、ポンプの燃料　凍結防止、その他。
二、防火訓練、神職、設定、管理会社、点検定期行う。

九、備品の在庫の確認

一、在庫表の作成。

広報部事業計画

広報部長　島田信夫（十班）

一、「神社境内における事業」について

一、神社参拝順路の案内看板の設置（観光客、参拝者に参拝されない拝殿を紹介するため）

二、「神社内での記録写真の撮影と編集保存整理」について

一、神社の祭典・行事、及び境内の整備などの記録写真…主に神社のカメラを使う。（祭事等は一回限りの事であり、一人で撮影するより二人で撮影すると失敗が少ない）

二、写真データの整理・保存…パソコンでデータ整理。ＵＳＢメモリ（年ごとに仕分けし、月日ごとにフォルダに名前を付けてファイルで整理する）に保存することによりデータを読み出しやすくする。

三、「神社便りの発行」について

一、年間、二回（四～五月、十～十一月）見開きページで発行

二、五〇〇部印刷…下之郷自治会の各戸へ班長経由で配付。リサーチパーク管理事務所へ三十五部配付。

四、「神社祭事・イベント」「許可書の手配」について

一、対揖参進（席札の貼付け確認）時の整列・誘導

二、祇園祭の道路使用許可申請書の提出（警察）

三、祇園祭子供神輿集合写真撮影…学年別に撮影。ＰＴＡ役員を経由し、各自へ配付。

四、煙火の打ち上げ依頼、消防署への届出書の作成・提出。

五、「福だるま頒布」について

一、福だるまと招き猫の在庫確認と新規発注、早期仕入れ

二、名入れだるまの受注・仕入れ。目入れと清め祓い

三、福だるま・招き猫の頒布一月一日から十五日まで。ダルマ会計簿作成。

六、「メディア・マスコミ関係」について

一、神社ホームページ（ＨＰ）の更新や追加事項。新聞社などへ情報提供。

初詣

二年参りも含め、正月三が日の参拝者は約四万人に達した。

今年は穏やかな好天にも恵まれたが、二年参りの参拝者が極端に少なかった半面、日中の参拝者が特に多くなり皆今年の幸せを願っていた。

参拝の列は御神橋から東鳥居、神池の外周道路沿いを下之郷交差点まで続く長い列ができた。

今年はネット等ＰＲ効果や駐車場が無料なこともあり、大勢の人が訪れ中南信や関東方面の人も目立った。

十五日まで縁起物の福だるま招き猫市が開かれた。

いままでの祭事・行事

九月二十九日　尾張富士大宮浅間神社（愛知県犬山市）
百五十二名参拝

十月一日　十月月次祭

十月二日　第六十二回神宮式年遷宮　遥拝式

十月四日～五日　生島足島神社総代会研修旅行
行先滋賀・京都

十月十二日　渚大神社氏子総代会（松本市渚）
二十四名正式参拝

十月二十日　太子堂八幡神社（東京都世田谷区）
三十四名正式参拝

十月二十二日　斎館新築工事　上棟祭

斎館新築工事上棟祭

上棟祭鏡開き

十月二十五日　御歳代稲刈り（抜穂）

十月三十一日　第六十八回長野県神社庁・長野県神社総代会連合大会　於飯田文化会館

十一月一日　十一月月次祭　神（御）井神事
上神（御）井祭・下神（御）井祭

〃～十六日まで第七回生島足島神社菊花展

十一月二日　東京上田会うえだみどり大根奉納百名参拝

十一月三日　御移神事（諏訪様遷座祭）

御移神事

〃　十一月四日　御籠祭（～四月十三日まで）
子安社例祭

子安社例祭の後、参拝者

十一月十五日　七五三本日

十一月二十三日　新穀感謝祭（新嘗祭）
※勤労感謝の日

新嘗祭

十一月二十五日　八幡神社神葬信徒会
（東京都八王子市）
八名正式参拝

十一月二十七日　長野県敬神婦人会中高支会
（中野市・下高井郡）
十六名正式参拝

十一月二十九日　天皇皇后両陛下印度共和国
御渡航行幸啓安泰祈願祭

十二月一日　十二月次祭

十二月五日　長狭地区神社総代会（千葉県鴨川市）
六十一名参拝

※十月～十一月中各地の
保育園・幼稚園・小中学校・大学・公民館が
遠足、校外学習、社会見学実習にて参拝

いままでの祭事・行事

十二月　七日　天皇皇后両陛下印度共和国御渡航還幸啓奉告祭
十二月　十三日　第十三回斎館建設委員会
十二月二十三日　天長（節）祭
※ 天皇誕生日
十二月二十五日　十三社例祭
十二月三十一日　古神札（神符守札）焼納式
〃　十二月の大祓式（師走の祓）
〃　越年除夜祭
一月　一日　歳旦祭
※ 正月元旦
一月　八日　御門祭
〃　荒魂社例祭
一月　十四日　御筒粥卜（占）神事
一月　十五日　御筒粥卜（占）奉告祭及び蟇目鳴弦並蛙狩神事
※ 旧成人の日
一月　三十日　斎館新築工事竣工清祓式　引越開始
二月　一日　二月月次祭
二月　三日　節分追儺祭　鬼やらい豆撒き
二月　十一日　紀元（節）祭並神位祭併祈年祭
※建国記念日
二月　十四日　第十四回斎館建設委員会
三月　一日　三月月次祭
三月　八日　神社総代就任奉告祭及委嘱書授与式
三月二十三日　平成二十六年度氏子総会
三月二十六日　秋葉社（講）例祭

12月7日 巫女バイト打ち合わせ会

12月9日 福だるまの目入れ

12月21日 福だるま清祓式

※右に記した正式・自由参拝の他にも、
恒例の新年御祈祷祈願に多くの団体・企業・学校・
スポーツグループ・個人の方々の参拝をいただきました。

これからの主な祭事・行事

四月　一日　四月月次祭
四月　十八日　御移神事（諏訪様還座祭）
四月　十九日　摂社諏訪神社（下宮）例祭
〃　御本社（上宮）春季祭
四月二十九日　昭和祭
※ 昭和の日
四月　下旬　浅間社例祭
五月　一日　五月月次祭
五月　十日　山宮社例祭
五月　中旬　浅間社池宮例祭
〃　神社消防隊ポンプ操法
六月　一日　防火放水訓練
六月二十五日　六月月次祭
六月　三十日　御歳代田作り
御歳代種蒔神事並祇園
天王降祭
六月　三十日　六月の大祓式（夏越の祓）

大看板新調する

12月7日「初詣」の看板新調

平成26年2月3日
武田信玄武将起請文看板新調される

祝日には国旗を掲げて
みんなでお祝いしましょう!!

昭和の日　四月　二十九日（火）
憲法記念日　五月　三日（土）
みどりの日　五月　四日（日）
こどもの日　五月　五日（月）
振替休日　五月　六日（火）
海の日　七月　十五日（火）

編集後記

神社便りも第40回を迎え、紙面を増やし、見開きページに変え、一段と読みやすくしていきますので、よろしくご愛読ください。
皆様のご健康をお祈り申し上げます。
（広報部）